

# ビジネスパーソンの花粉症に関する意識調査

2008年 2月

実施： グラクソ・スミスクライン株式会社

## 【調査概要】

### 1.調査目的

ビジネスパーソン花粉症に対する意識を把握

### 1.調査対象

全国、20歳～39歳の、花粉症の症状をもち、部下をもつビジネスパーソン男女412名(有効回答数)

### 1.調査方法

インターネットモニターから、花粉症の自覚症状をもち、部下をもっているビジネスパーソンのサンプルを抽出し、インターネット上で調査を実施

### 1.調査期間

2008年1月22日～1月23日

### 1.標本構成(有効回答412名)

(性別)

	N
1 男性	206
2 女性	206
全体	412

(年齢)

	N
1 20才～24才	29
2 25才～29才	173
3 30才～34才	117
4 35才～39才	93
全体	412

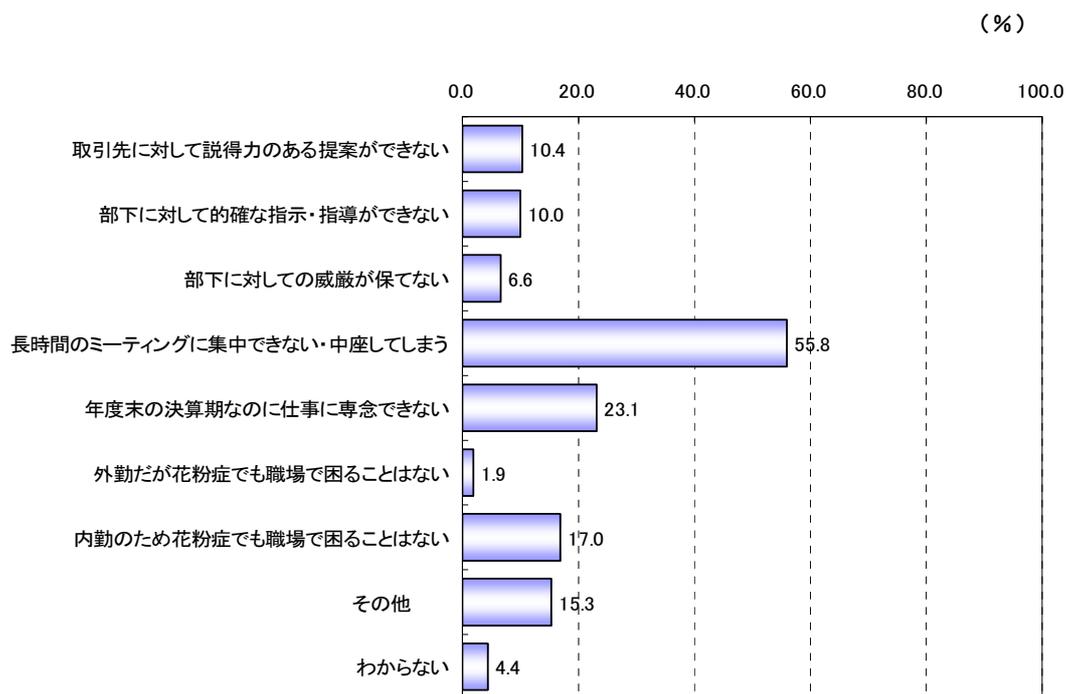
(職業)

	N
1 経営者・役員	16
2 会社員(事務系)	167
3 会社員(技術系)	112
4 会社員(その他)	101
5 自営業	16
全体	412

### ■花粉症のときは、長時間のミーティングはつらい

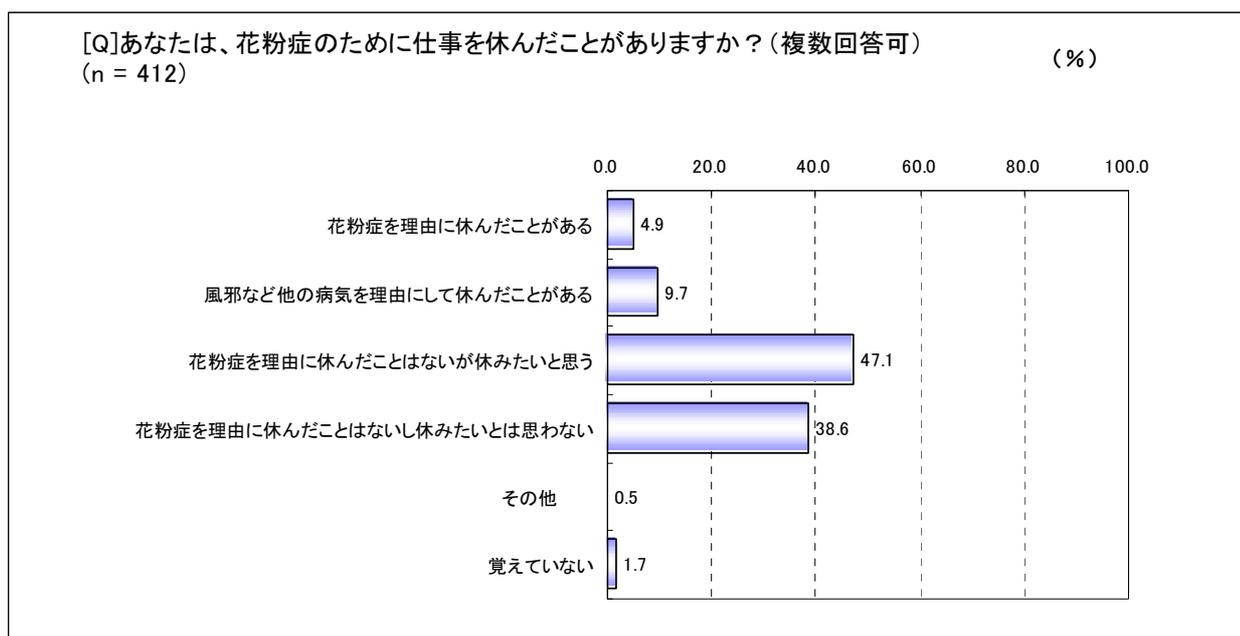
花粉症のビジネスパーソンは55.8%は、花粉症のために長時間のミーティングに集中できない、中座してしまうという傾向にあります。また、23.1%が花粉症の時期は、年度末の決算期にあたり、仕事に専念できないという悩みもみられました。

[Q]あなたが、花粉症のために業務において困ることは何ですか？（複数回答可）  
(n = 412)



### ■ビジネスパーソンは花粉症のときにも仕事を休みたいと思う

ビジネスパーソンの47.1%は、花粉症を理由に仕事を休んだことはないが、休みたいと思ったことがあるようです。実際に花粉症を理由に仕事を休んだ人もおり(4.9%)、かぜなど他の病気を理由にして休んだことがある人もいました(9.7%)。



### ■ビジネスパーソンは花粉症のために仕事ができないとはいえない

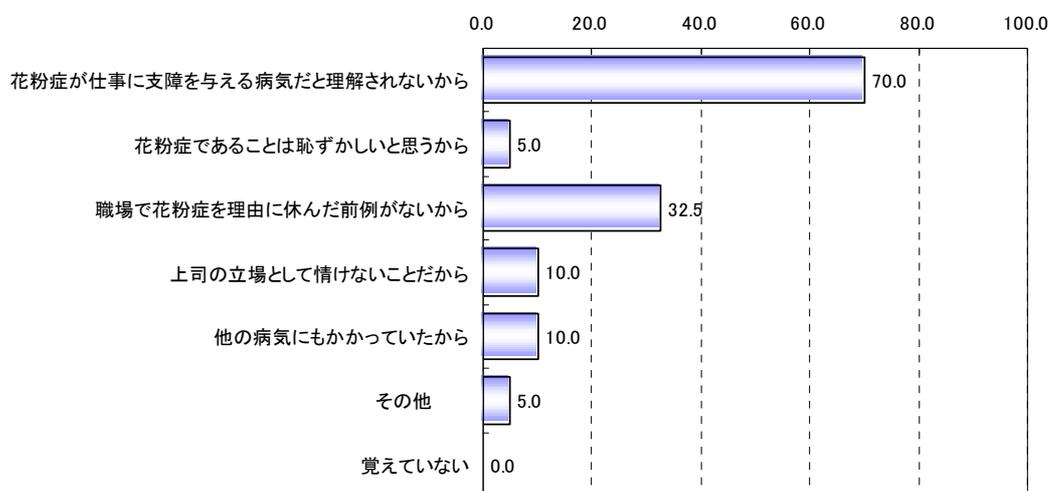
他の病気を理由に休んだことがあると回答した人のうち7割が、花粉症が仕事に支障を与える病気だと理解されないからと、本当の理由を申告できなかったと回答しています。また、32.5%は職場で花粉症を理由に休んだ前例がないため、花粉症以外の病気を理由に欠勤することがわかりました。

[Q]【風邪など他の病気を理由にして休んだことがある】と答えた方にお聞きします。

他の病気を理由としたのはなぜですか？（複数回答可）

(n = 40)

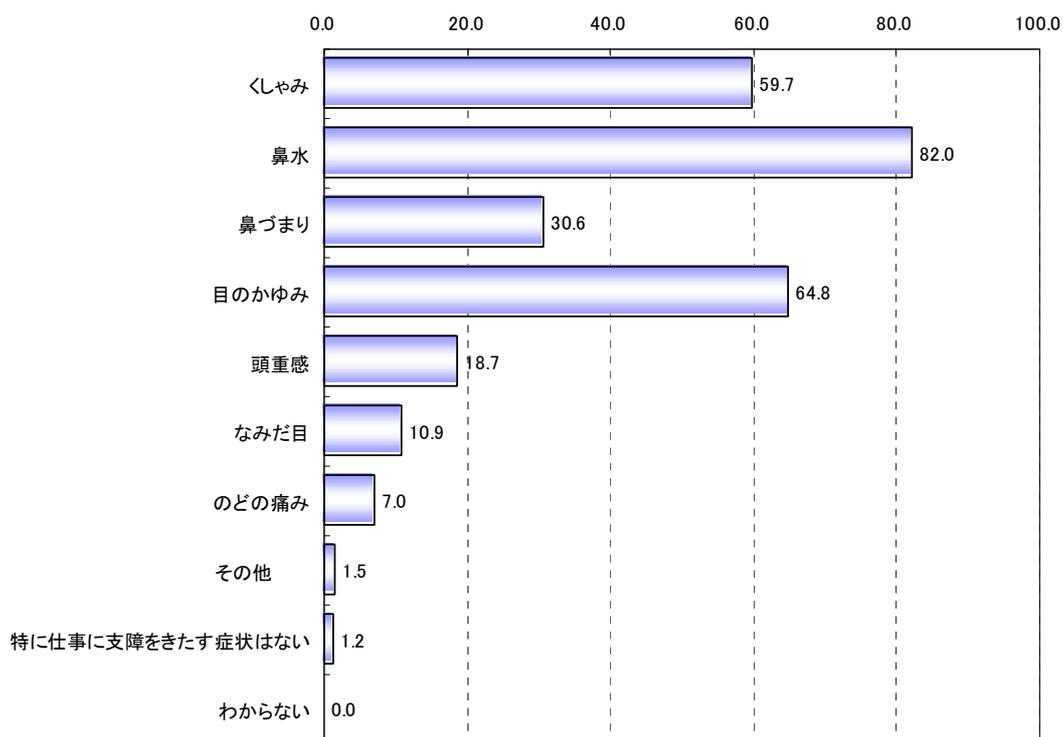
(%)



■仕事に支障をきたす最大の症状は鼻みず、続いて目のかゆみ、くしゃみ、鼻づまり

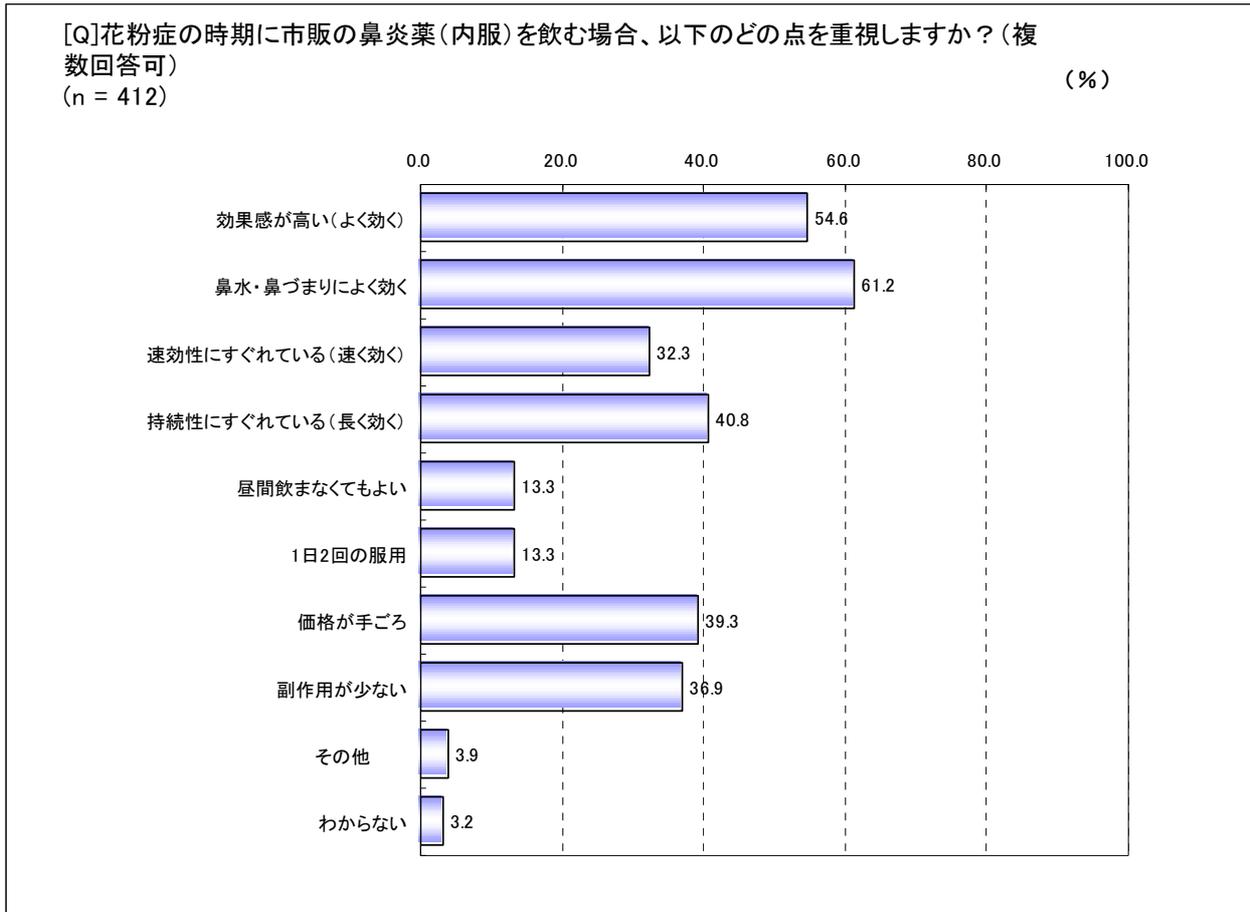
花粉症の症状で、鼻みず(82.0%)、目のかゆみ(64.8%)、くしゃみ(59.7%)、鼻づまり(30.6%)の順で仕事に支障をきたすという結果がでました。特に支障をきたすことはないと回答したのは、わずか1.2%で、程度の差はあれ、ビジネスパーソンにとって、花粉症は仕事の大敵であることがうかがえます。

[Q]花粉症の症状で最も仕事に支障をきたす症状は次のうちどれですか。3つまでお答えください。(%)  
(n = 412)



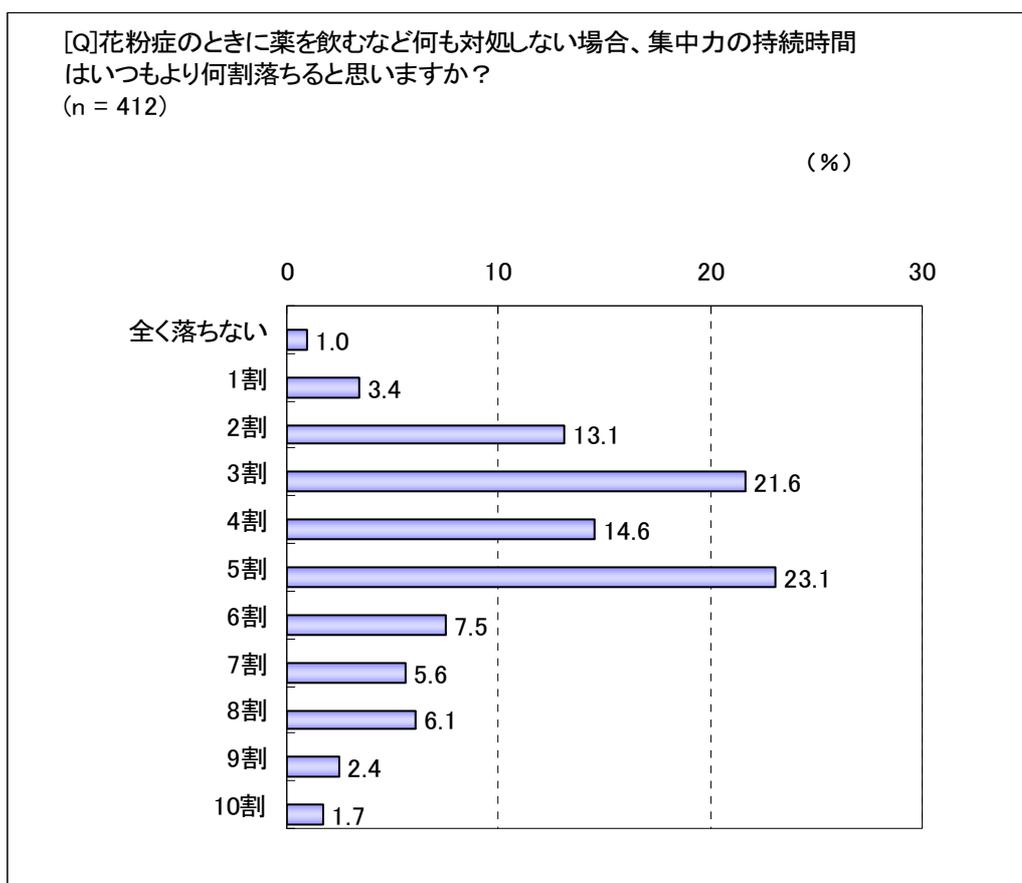
■ビジネスパーソンが求めるのは、鼻みず・鼻づまり・くしゃみによく効く鼻炎薬

61.2%が、鼻炎薬に鼻みず・鼻づまりへの効果を期待しており、続いて効果感が高い(54.6%)、持続性があり(40.8%)、つらい症状を緩和し、効き目の長い鼻炎薬を望んでいます。



### ■花粉症で集中力が半減すると約4人に1人が回答

花粉症のときに薬を飲むなど何もしなければ、23.1%が集中力の持続時間が半減すると回答しています。集中力が3割～5割落ちると回答した人はあわせて60%近くへのぼり、花粉症でいつもの集中力が発揮できない様子がうかがえます。



■花粉症がなくなるなら、高級外車、ブランド時計・バッグは失っても惜しくない

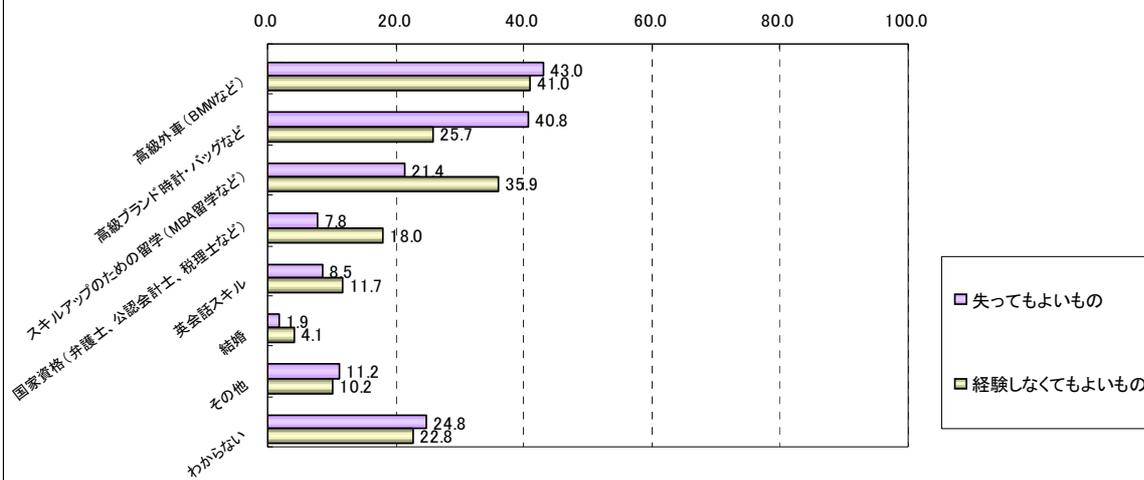
花粉症がなくなるなら、高級外車(43.0%)、高級ブランド時計・バッグ(40.8%)は失ってもよいと回答しています。さらに、ビジネスパーソンは高級品にお金をかけるよりも、英会話など自分への投資を重視する傾向が浮き彫りになりました。

[Q]あなたの花粉症の症状が一生無くなるのと引き換えに、失ってもよい・経験しなくてもよいと思うのはどれですか？

それぞれについて3つまでお答えください。

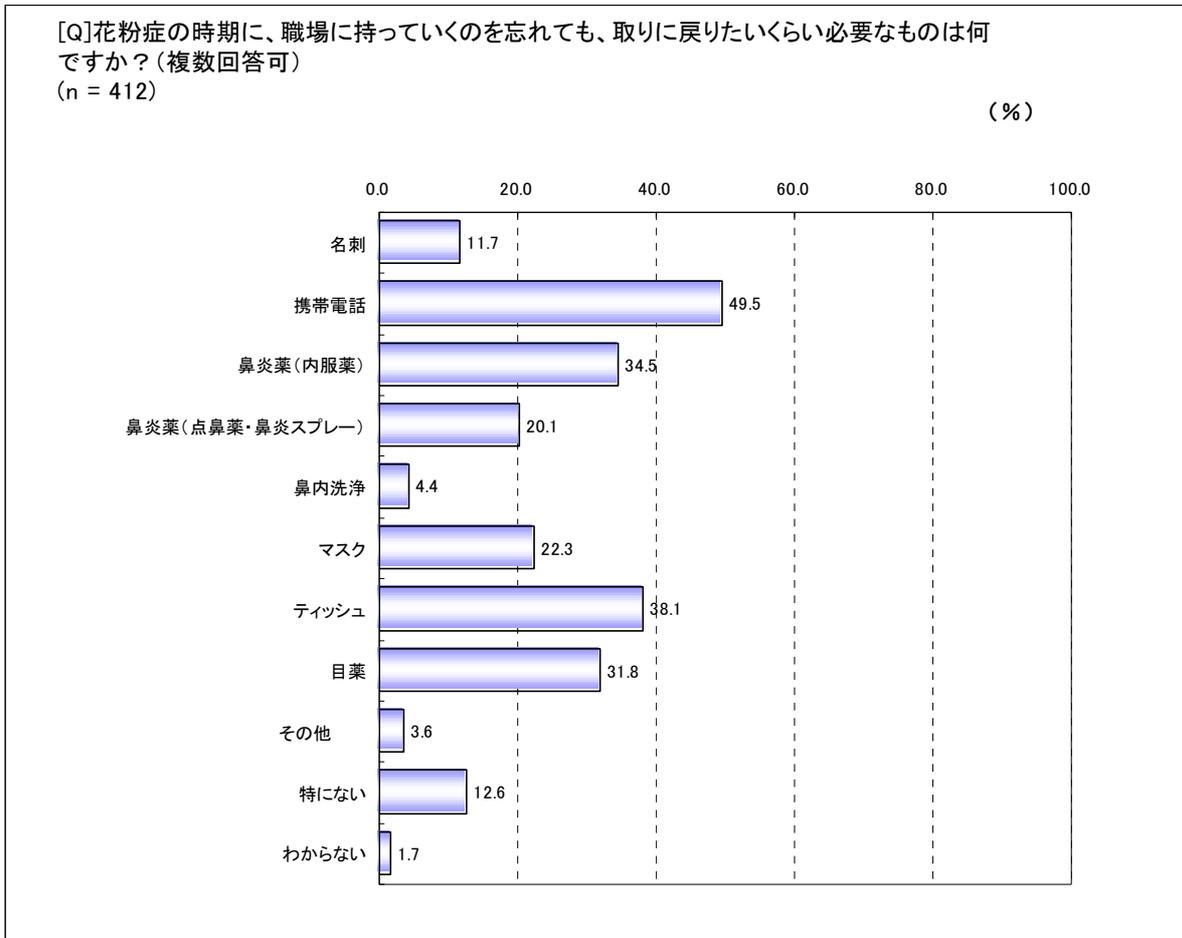
(n = 412)

(%)



### ■花粉症のときは、携帯電話と同様にティッシュ、鼻炎薬が仕事の必需品

花粉症のときに職場に必ず持って行きたいもののトップに、携帯電話(49.5%)、続いてティッシュ(38.1%)、内服薬の鼻炎薬(34.5%)が挙げられました。一方、名刺(11.7%)よりもティッシュや、鼻炎薬、目薬(31.8%)、マスク(22.3%)などの花粉症対策グッズが大事と思う傾向が明らかになりました。

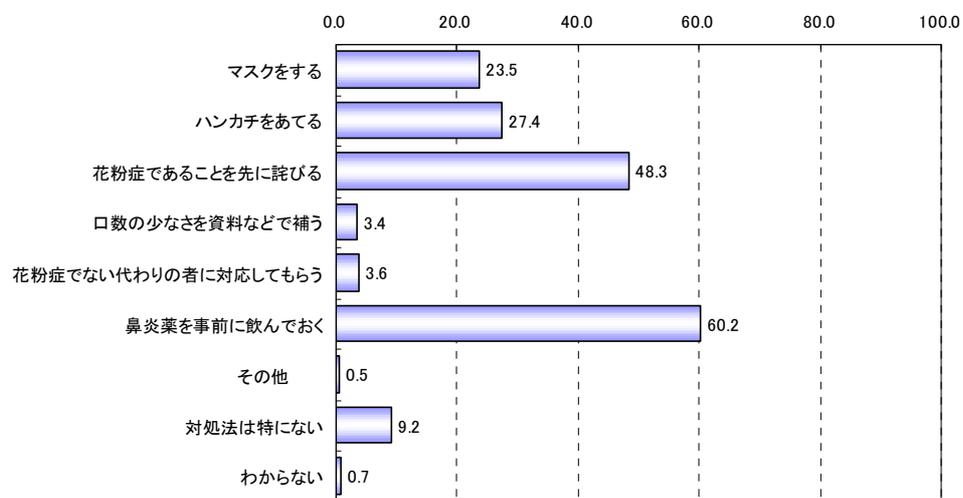


■大事な人に会うときには、鼻炎薬を飲み、花粉症であることを先に詫げる。

60.2%が鼻炎薬を飲み、48.3%が花粉症であることを先に詫げるなど、人に対するマナーをわきまえて大事なミーティングや取引先と会うときには花粉症対策を行っていることがわかりました。

[Q]花粉症の症状が辛いとき、取引先で対応しなければならない・大事なミーティングで発言しなければならない場合、あなたはどのように対処しますか？(複数回答可)  
(n = 412)

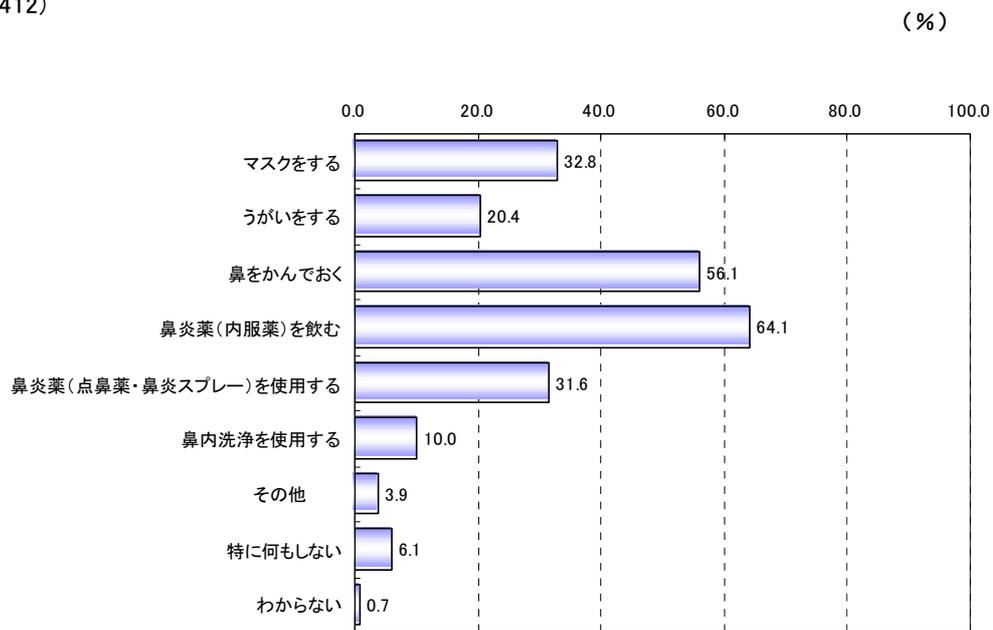
(%)



■花粉症のとき大事な仕事の前に、鼻炎薬を飲むのが最大の対策法

ビジネスパーソンは、大事な仕事の前には、鼻炎薬(内服薬)を飲むと回答した人が64.1%にのびました。仕事に影響を与えないために、ビジネスパーソンは症状を抑える鼻炎薬が欠かせないようです。

[Q]花粉症の時期に取引先との打ち合わせなど大事な仕事があるときに、花粉症の症状を気にしないために行うことは次のうちどれですか(複数回答可)  
(n = 412)



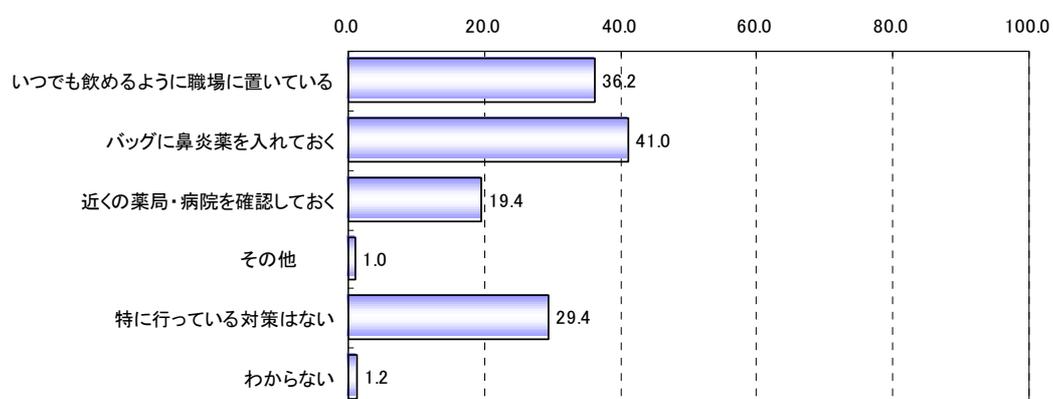
■なくなっても困らないよう、バッグに鼻炎薬を入れる、職場に置くなど、鼻炎薬はマストアイテム  
 花粉症の時期に、鼻炎薬がなくなったときのための対策のトップは、バッグに鼻炎薬を入れておく  
 (41.0%)、いつでも飲めるように職場に置いている(36.2%)と続き、なくなったときでもあわてない  
 ための対策法を持っていることがわかりました。

[Q]花粉症の時期に鼻炎薬(内服薬)がなくなったときのための対策は次のうちどれですか。

(複数回答可)

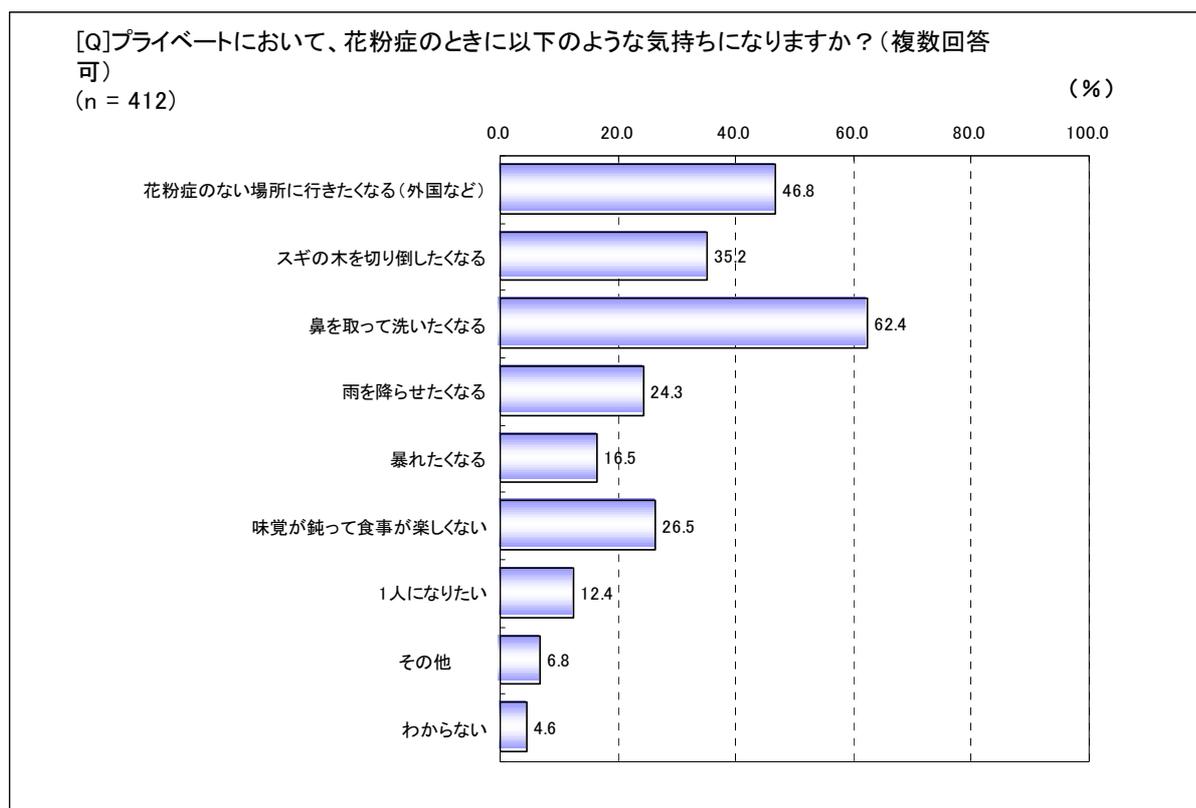
(n = 412)

(%)



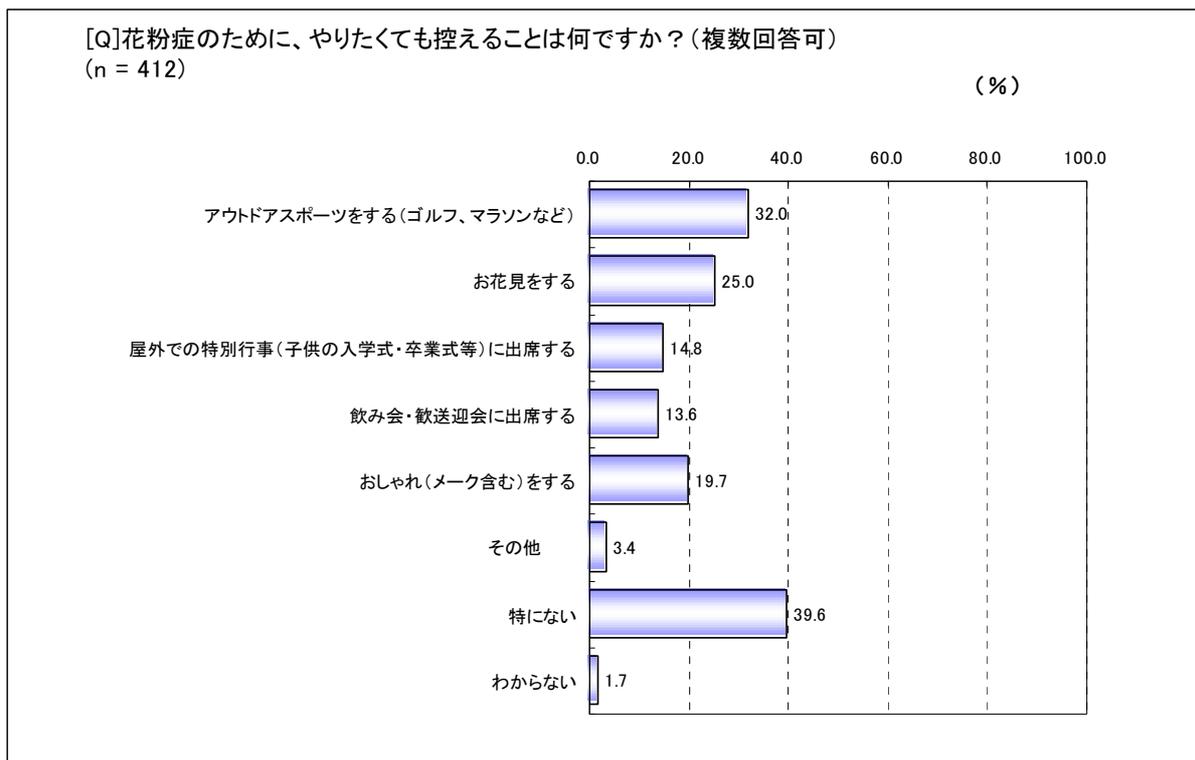
■花粉症のときは、自暴自棄。鼻をとって洗いたくなるほどつらい

62.4%が鼻をとって洗いたくなる、46.8%が花粉のない場所に行きたくなる、35.2%がスギを切り倒したくなると回答し、花粉症は自暴自棄な行動をとりたくなるほどつらいことがわかります。



■花粉症のために、やりたくても控えていることは、アウトドアスポーツ

ビジネスパーソンの約6割が花粉症のために、やりたくても控えていることがわかりました。特に、32.0%がアウトドアスポーツをやりたくても控えると回答しています。春先の花粉症の季節は気候がよいにもかかわらずインドア生活を強いられているようです。



### ■花粉症のストレス解消法は、ひたすら寝る、ひたすら家にこもる

ビジネスパーソンの29.1%がひたすら寝る、27.4%が家にこもって花粉症のストレスを解消すると回答し、花粉症のときはひきこもりがちになっていることがわかります。

